ニカラグア内政・外交・経済（２０１４年７月分）

【概要】

<内政・外交>

内政では、１９日、第３５回革命記念式典が行われ、来賓として、ホンジュラス、エルサルバドル、ベネズエラから大統領が、キューバから副大統領が、エクアドルからは国会議長が参加した。他方、同日の夜、同式典に参加していたサンディニスタ党員やシンパが乗っていたバスに対する銃乱射事件が発生した。現在、国家警察や国軍による捜査が行われており、容疑者の取り調べも行われているが、市民社会グループ等は、人権を軽視した捜査が行われているとして批判している。

外交では、プーチン・ロシア大統領と藩基文国連事務総長がニカラグアを訪問し、国内におけるオルテガ大統領のプレゼンスの向上やイメージアップに繋がることになった。特に、ロシア大統領のニカラグア訪問は初めてであり、短時間の滞在ではあったものの、大きな話題を呼んだ。ただし、プーチン大統領及び藩基文事務総長の訪問が、訪問の直前まで公表されなかったことや、明確でない訪問目的等について問題視する声もあった。

<経済>

経済面でも、世銀グループ専務理事及び米州開発銀行総裁の来訪等注目される訪問があった。また、上旬に、ニカラグア両大洋間運河建設計画のコンセッションが付与されているHKND社のWang Jing・CEOがニカラグアを訪問し、運河ルートが発表されるとともに、HKND社による経済界やルート予定地域の住民への説明会が行われた。ただし、実現性を訝る声も多く、１０月に予定されているF/Sの完成が待たれるところである。

１　主要な動き

（１）政治

ア　プーチン露大統領のニカラグア立ち寄り

１１日、プーチン・ロシア大統領は、中南米外遊の途次、ニカラグアに立寄り、オルテガ大統領と会談を行った。ロシア通信社の報道によれば、同会談において、ＧＬＯＮＡＳＳ（ロシア版ＧＰＳ）の運用システムのニカラグア設置及びニカラグア両大洋間運河建設計画について議論された。また、ロシア大統領府の発表によれば、農業・軍事・衛星分野での協力関係の強化について議論され、ニカラグアでの軍の補給拠点の設置についても言及された。ただし、今次プーチン大統領のニカラグア滞在は極めて短時間であり、特定の案件への署名や発表等も行われなかったことから、プーチン大統領が訪問した他の中南米諸国と比べ、友好・協力関係の増進の意味合いが強かったものと見られる。

イ　武装集団によるライフル銃乱射事件

　１９日、マタガルパ県内の２ヶ所において、同日の革命記念式典に参加していた与党サンディニスタの党員、シンパが乗車していたバスの列に、銃弾が撃ち込まれ、５人が死亡、２０人以上が負傷する事件が発生した。現在、国家警察や国軍による捜査が続いており、容疑者の取り調べも行われているが、犯行グループや犯行の背景等については明らかになっていない。他方、市民社会グループ等は国家警察や国軍による捜査は、人権を軽視しているとして批判している。

（２）経済

ア　両大洋間運河ルートの決定

　７日、ＨＫＮＤ社のWang Jing・CEOは、両大洋間運河建設計画について、候補ルートの中で環境・社会インパクトが最も低いとの理由から、第４ルートを採用することにした旨発表した。同社によれば、同ルートは、太平洋側のリバス県南部のブリトー河の河口を通り、ニカラグア湖を通過し、プンタ・ゴルダ河の河口付近につながるルートとなっている。また、その全長は２７８ｋｍ、幅２３０ｍ～５２０ｍ、水深２７．６～３０ｍの規模で、両大洋間にそれぞれ閘門を建設し、閘門は１隻のみが通航できる。HKND社は、運河ルートの発表後、経済界や同ルートの予定地域の住民等に対する説明会を開催したところ、今次発表は、一定の進展として概ね肯定的な評価がなされた一方で、説明が不十分であるとの不満の声が上がったほか、野党議員等は、今次発表は、プロパガンダの政治ショーであると批判した。

イ　基礎品目バスケット価格の上昇

　ニカラグア中銀によると、５３品目の基礎品目バスケット価格は、１２，４４０．９コルドバ（約４７８．３２ドル）に達した。本年１月～７月にかけて、１４００コルドバ（約５４ドル）、昨年１２月比で、１１％上昇しており、主要産業の平均給与が８，０４０コルドバ（約３０９ドル）であることと比べても、市民の購買力に対する大きな打撃となっている。主な要因は基本食料品の価格上昇であるが、それに加えて、給与がコルドバで支払われる一方で、ニカラグア経済は８０％がドル化していることも影響していると考えられる。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2014年** | | | **2013年** | **2012年** |
| **7月** | **6月** | **5月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 6.9% | 6.1% | 4.8% | 5.7% | 6.6% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | △227.3 | △2792.3 | △2,740.7 |
| **輸出（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 229.5 | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 456.8 | 5,193.0 | 5,418.1 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 88.4 | 98.5 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2,032.2 | 2,086.8 | 2,005. | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

２　クロノロジー

（１）内政

　７日　与党ＦＳＬＮは、第３５回革命記念日に向けた集会等の政党活動を開始。

１９日　オルテガ大統領は、第３５回革命記念式典に出席。

　　　　与党サンディニスタの党員・シンパが乗車したバス襲撃事件が発生。

３１日　オルテガ大統領は、第３５回ニカラグア空軍記念式典に出席。

（２）外交

　２日　ハレスレーベン副大統領は、バレーラ・パナマ新大統領就任式に出席（於：パナマ）。

１１日　オルテガ大統領は、プーチン・ロシア大統領と会談（於マナグア）。

１９日　マドゥロ・ベネズエラ大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領、サンチェス・エルサルバドル大統領、バルデス・キューバ副大統領等が、第３５回革命記念式典に出席（於マナグア）。

２８日　オルテガ大統領は、故チャベス前大統領の生誕６０周年記念行事に出席（於ベネズエラ）。

２９日　ハレスレーベンス副大統領は、第４６回メルコスール首脳会合に出席（於ベネズエラ）。

オルテガ大統領は、藩基文国連事務総長と会談（於マナグア）。

（３）経済

７日　ＨＫＮＤ社は、両大洋間運河建設計画の運河ルートを発表。

８日　国会において、国家安全保障のための税関における検査サービスに関する権利法（スキャナー法）が可決。

　　　オルテガ大統領は、WangJing・HKND社CEOと会談（於マナグア）。

９日　国会は、米州開発銀行からの４５００万ドルの融資を承認。

　　　国会は、トゥマリン水力発電所建設プロジェクトの送電線網への投資として韓国輸出入銀行による４８００万ドルの融資を承認。

１０日　オルテガ大統領は、スリ・ムルヤニ・インドラワティ世界銀行グループ専務理事と会談（於マナグア）。

１１日　オルテガ大統領は、ボンド米国商業会議所副会頭と会談し、TPP締結に対し懸念を表明（於マナグア）。

１３日　カナヨ・ヌワンゼ国際農業開発基金代表は、農業セクター開発プログラム評価のため来訪。

２１日　タラベラ国立大学審議会会長（両大洋間運河技術委員会メンバー）は、運河ルート通過地域の住民への説明会を開始（２９日まで）。

２４日　モレーノ米州開発銀行総裁は、オルテガ大統領と会談し、南北大西洋岸自治地域の街道建設（４６km）への融資を発表（於マナグア）。

３０日　アコスタ財務大臣は、イタリアからの酪農セクター開発プログラムへの７５０万ユーロ（約１０２０万ドル）の融資に署名。（了）